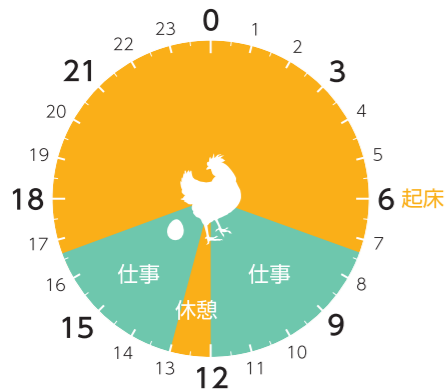


安全、安心な卵を作る、
大道さんのある1日のお仕事

- 6:00 起床。
- 7:20 ~ 7:40 自宅から農場へ。着替えて仕事開始。
- 8:00 ~ 11:00 鶏舎内の清掃、飼育状況の確認。
- 11:00 ~ 12:00 機械設備の整備。
- 12:00 ~ 13:00 休憩。
- 13:00 ~ 15:00 機械設備の整備。
- 15:00 ~ 15:40 当日の生産、飼養データ収集、記録。
- 15:40 ~ 16:10 翌日の作業準備。
- 16:10 ~ 16:30 飼育状況の確認。
- 16:40 帰宅。



鶏舎内部。生みたての卵はオートメーションで集卵されている



きれいな鶏は、行き届いた衛生管理の証



集卵から包装まで、フルオートメーションで卵の鮮度を維持



「自分が食べたいなって思うものを、手作りするって楽しいですよ」。常に真摯な姿勢で仕事に向かい、全力で子育てに励む。家族を愛する大道さんが大切に育てている鶏からとれる卵は、とってもやさしい味でした。

Profile

東平農場 農場長

だいどう たくみ
大道 拓巳 さん

岩手県洋野町出身、36歳。地元の高校を卒業後、エネルギー関連会社で機械のメンテナンスの仕事に就く。結婚後も遠方への長期出張が多いことから地元企業への転職を考え、食の生産にかかわる職業を選択。10年前(株)オリエンタルファームに入社。5年前から東平農場長。趣味は海釣り、子どもと料理作り。階上町で、妻と子ども2人の4人暮らし。

企業名 株式会社 オリエンタルファーム

- 所在地/青森県八戸市
- 事業内容/鶏卵の生産と販売
- 従業員数/86人
- 飼養羽数/3農場で130万羽

鶏の健康状態を入念にチェックする大道農場長



充実したプライベートが
明日への活力を育む！

常に鶏舎内で働く大道さんだが、なぜか真っ黒に日焼けしている。それは海釣りを趣味としているから。「養鶏は、キツイ、汚いというイメージを持つ人がいるかも知れませんが、生き物が好きならば大丈夫です。ペット以上に生き物の声を聞くのがこの仕事、正直言っておもしろい。無駄な残業をさせないのも社風で、管理職でも4時半に帰れるから、仕事が終わってからの釣りに行けるんですよ」と笑顔になる。

休日、自社でとれた卵で、茶碗蒸しからクッキーまで子どもと一緒に作り、ゆるい時間を過ごす。

「自分が食べたいなって思うものを、手作りするって楽しいですよ」。

常に真摯な姿勢で仕事に向かい、

全力で子育てに励む。家族を愛する

大道さんが大切に育てている鶏か

らとれる卵は、とってもやさしい味

でした。

畜産業で働く！ Work Style VOL.04

卵をつくる



みんなに自慢できる
安全、安心な「おいしい卵」を作る！

食の生産に関わる
仕事に就きたい！

「子どもに自慢できるんですよ。お父さんが育てた鶏からとれる卵は、新鮮でおいしくて安全だから、一緒に料理を作って食べようって」そう笑顔で話すのは、大道拓巳さん。採卵養鶏を行う(株)オリエンタルファーム東平農場の農場長だ。言葉通り清潔な施設ではきれいな鶏が1日約1個、真っ白な卵を元気に生んでいた。

大道さんが採卵養鶏の道を志したのは20代。地元の高校を卒業し、エネルギー関連の会社に就職してからだ。「仕事は、国内なら九州、静岡。海外なら中国と長期出張が多かった。結婚したので地元で落ち着きたい、食べ物がおいしく友だちも多い県南での転職を模索しました」と明かす。

父も兄も養鶏の仕事に携わっており、子どもの頃から慣れ親しんだ、食の生産に関わる仕事への憧れは次第に高まっていく。そして「生涯に渡り安定した職に就きたい」とオリエンタルファームを選択。社員募集するまで時を待ったというから、会社愛が半端ない。

鶏の健康を第一に
些細なサインも見逃さない

採卵養鶏は、徹底した衛生管理のもと、成熟した鶏に、トウモロコシ等の穀物を中心に、ビタミンや腸内環境を整える菌を加えた配合飼料を与えて育てる。オリエンタルファームでは3農場で130万羽を飼育し、1農場を5人で管理。1日約1個、生まれた卵はベルトコンベアーで運ばれ、フルオートメーションで、洗浄、殺菌、検査、包装などを経て、私たちの食卓に届く。

大道さんの仕事は、鶏舎内を衛生的に管理するのはもちろん、鶏の飲水量の極端な増減はないか、餌を食べる量に変化はないか、卵とは別のベルトコンベアーで運ばれている糞の匂いは大丈夫かなど、常に細心の注意を払う。

「飲水量など、少しの変化に早く気づけば、病気も未然に防ぐことができる。鶏の変化を見逃さず改善できたときに、やりがいを感じますね」ほかに、衛生環境整備として野鳥が入らないよう防護柵・防護網のチェックや、オートメーション機械も整備する。「作業員が元気に農場に来て元気に帰ってもらえるよう、怪我に繋がるものは何ひとつ鶏舎に置かないんです」

無駄な作業を減らし、作業効率の向上に努めることで、時間に余裕ができる。それは、やがて仕事のスキルアップに繋がっていく。